



平成17年2月17日

各 位

会 社 名 株式会社 佐賀共栄銀行
 代 表 者 名 取締役頭取 山本 孝之
 コード番号 0583
 問 合 せ 先 常務取締役総合企画部長
 杉 野 素 善
 T E L 0952-26-2161

四半期情報の開示について

当行の平成17年3月期 第3四半期(平成16年10月1日から平成16年12月31日)における四半期情報開示について、お知らせします。

以下に掲げる四半期情報は、経済対策閣僚会議「改革先行プログラム」および金融庁「証券市場の構造改革プログラム」の趣旨等を踏まえ、任意の会社情報として開示するものです。

(注) 以下に記載する数値は、会計監査法人の監査は受けておりません。

1. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」【連結】

(単位：百万円)

(参考) (単位：百万円)

	平成16年12月末	平成15年12月末	平成16年9月末(実績)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,082	7,902	8,043
危険債権	4,964	5,252	5,195
要管理債権	2,436	2,966	2,278
合 計	15,483	16,122	15,517

(注) 上記の平成16年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末又は中間期末に開示する計数とは異なりますので、計数は連続しておりません。

- 平成16年12月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額は、同年9月末時点の債権区分をベースとし、同年10月1日から12月末までに新たに「倒産、銀行取引停止処分」等の法的、客観的な事実の発生があった債務者について「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に増加させております。また、同年10月1日から12月末において同年9月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」を有する債務者への「債権額」が増加または減少した場合は同年12月末の債権額としております。
- 平成16年12月末の「危険債権」の金額は、同年9月末時点の債権区分をベースとし、同年10月1日から12月末までに同年9月末の「危険債権」である債務者への「債権額」が増加また

は減少した場合は同年12月末の債権額としております。同年9月末時点において「危険債権」を有する債務者について同年12月末において「倒産、銀行取引停止処分」等の法的、客観的な事実が発生した場合には「危険債権」から減算し、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に加算しております。

3. 平成16年12月末の「要管理債権」の金額は、同年9月末時点の正常先、要注意先の債務者に対する貸出債権または同年10月1日から12月末までに新たに貸出した貸出債権のうち①同年10月1日から12月末までに新たに貸出条件を緩和した債権と当行が認識した貸出債権②同年12月末において3ヵ月以上延滞となった貸出債権を加算し、同年9月末において3ヵ月以上延滞であった貸出債権が同年12月末において3ヵ月未満の延滞になった貸出債権については「要管理債権」から減算しております。なお、同年10月1日から12月末の間に債権額が減少した場合は同年12月末の債権額を減算しております。また、同年9月末時点において「要管理債権」であった債務者について同年12月末において「倒産、銀行取引停止処分」等の法的、客観的な事実が発生した場合には「要管理債権」から減算し、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に加算しております。

※債務者区分との関係：破産更生債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）

危険債権（破綻懸念先の債権）

要管理債権（要注意先のうち、元金または利息の支払いが約定日より3ヵ月以上延滞している貸出債権および貸出条件を緩和した貸出債権）

2. 自己資本比率（国内基準）

（参考）

	平成17年3月末(予想値)	平成16年9月末(実績)
連結自己資本比率	8.5%程度	8.42%
連結Tier I比率	6.7%程度	7.24%

（注）上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

3. 時価のある有価証券の評価差額【連結】

○ 評価差額

（単位：百万円）

（参考）

（単位：百万円）

	平成16年12月末				平成15年12月末				平成16年9月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	56,544	280	797	516	55,565	△730	601	1,331	50,554	120	683	563
株式	2,536	△17	363	380	2,146	△442	165	607	2,471	△82	323	405
債券	48,352	309	421	111	50,856	△283	421	704	45,444	199	347	148
その他	5,654	△11	12	24	2,563	△4	15	19	2,638	3	13	9

- (注) 1. 平成16年12月末の「評価差額」および「含み損益」は、平成16年12月末時点の帳簿価額（償却原価法適用前、減損処理前。）と時価との差額を計上しております。
2. 有価証券のほか、コマーシャル・ペーパー等も含めております。
3. なお、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

	(単位：百万円)				(参考) (単位：百万円)							
	平成16年12月末			平成15年12月末			平成16年9月末					
	帳簿 価額	含み損益		帳簿 価額	含み損益		帳簿 価額	含み損益				
うち益		うち損	うち益		うち損	うち益		うち損				
満期保有 目的の債券	2,600	84	86	1	2,000	47	53	6	2,200	82	82	—

4. デリバティブ取引【連結】

- (1) 金利関連取引
該当ありません。
- (2) 通貨関連取引
該当ありません。
- (3) 株式関連取引
該当ありません。
- (4) 債券関連取引
該当ありません。
- (5) 商品関連取引
該当ありません。
- (6) その他
該当ありません。

5. 預金・貸出金の残高【単体】

	(単位：百万円)		(参考) (単位：百万円)
	平成16年12月末	平成15年12月末	平成16年9月末(実績)
預 金 (末残)	250,449	252,223	248,146
貸 出 金 (末残)	185,726	183,708	182,815

以 上